

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年8月29日(2019.8.29)

【公開番号】特開2019-76543(P2019-76543A)

【公開日】令和1年5月23日(2019.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2019-019

【出願番号】特願2017-206763(P2017-206763)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和1年7月16日(2019.7.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技が可能な遊技機であって、

少なくともエラー表示を表示可能な表示手段と、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

前記遊技制御手段から出力される情報に基づいて演出を制御する演出制御手段と、

前記演出制御手段から出力される表示情報にもとづいて前記表示手段の表示を制御する表示制御手段と、

報知優先度が設定されている、複数種類の異常を判定可能な異常判定手段と、

を備え、

前記遊技制御手段は、

前記異常判定手段による判定結果にもとづいて、発生している複数の異常の各々を1の情報により特定可能な特定異常情報を少なくとも含む異常情報を前記演出制御手段に出力可能であり、

前記演出制御手段は、前記遊技制御手段からの異常情報を出力されたときに、該異常情報から特定される異常について、報知優先度が高い異常に関する異常表示を表示するための表示情報を前記表示制御手段に出力するとともに、報知優先度が低い異常に関する異常表示を表示するための表示情報を前記表示制御手段に出力しない

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前記課題を解決するために、本発明の手段Aに記載の遊技機は、

遊技が可能な遊技機であって、

少なくともエラー表示を表示可能な表示手段と、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

前記遊技制御手段から出力される情報に基づいて演出を制御する演出制御手段と、
前記演出制御手段から出力される表示情報にもとづいて前記表示手段の表示を制御する
表示制御手段と、

報知優先度が設定されている、複数種類の異常を判定可能な異常判定手段と、
を備え、

前記遊技制御手段は、

前記異常判定手段による判定結果にもとづいて、発生している複数の異常の各々を1の
情報により特定可能な特定異常情報を少なくとも含む異常情報を前記演出制御手段に出力
可能であり、

前記演出制御手段は、前記遊技制御手段からの異常情報を出力されたときに、該異常情
報から特定される異常について、報知優先度が高い異常に関する異常表示を表示するため
の表示情報を前記表示制御手段に出力するとともに、報知優先度が低い異常に関する異常
表示を表示するための表示情報を前記表示制御手段に出力しない
ことを特徴とする。

また、本発明の手段1に記載の遊技機として、

遊技が可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機1）であって、

少なくともエラー表示（例えば、エラー報知画像）を表示可能な表示手段（例えば、画像
表示装置107SG005）と、

遊技の進行を制御する遊技制御手段（例えば、CPU103）と、

前記遊技制御手段から出力される情報に基づいて演出を制御する演出制御手段（例えば
、演出制御用CPU120）と、

前記演出制御手段から出力される表示情報にもとづいて前記表示手段の表示を制御する
表示制御手段（例えば、VDP107SG500）と、

複数種類の異常を判定可能な異常判定手段（例えば、CPU103が図8-12に示す
メイン側エラー処理を実行する部分）と、

を備え、

前記遊技制御手段は、

前記異常判定手段による判定結果にもとづいて、発生している複数のエラーの各々を1
の情報により特定可能な特定エラー情報を少なくとも含むエラー情報を前記演出制御手段
に出力可能であり（例えば、CPU103がメイン側エラー処理において図8-14に示す
エラー指定コマンドを演出制御用CPU120に対して出力する部分）、

前記演出制御手段は、前記遊技制御手段から前記特定エラー情報を出力されたときに、
該特定エラー情報をから特定される複数のエラーのうちの1のエラーについては、該エラー
に関するエラー表示を表示するための表示情報を前記表示制御手段に出力するが、該1の
エラー以外の他のエラーについては表示情報を前記表示制御手段に出力しない（例えば、
演出制御用CPU120が、図8-22に示すエラー報知処理においてエラー指定コマンド
からエラー種別（発生したエラー）を特定し、最も優先順位の高いエラーのエラー報知
画像を画像表示装置107SG005に表示させるように、VDPに対してエラー表示開始
指定コマンドを出力する一方で、他のエラーについては、VDPに対してエラー表示開始
指定コマンドを出力しない部分）

ことを特徴としてもよい。

この特徴によれば、エラー表示における表示制御手段の処理負荷を低減することができる。